

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・造形表現Ⅰ	演習	1	小林伸雄・佐藤有紀・井ノ岡里子

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ: 保育の現場での造形活動で用いる画材や素材のそれぞれの特徴を味わい、活動そのものの楽しさを体験しながら、造形活動に対する新しい視点を身につける。

到達目標: 様々な造形活動(平面表現)の実践を通して、保育の現場に必要な基礎知識や技能を身につける。また子どもの表現について学び、その指導や環境について理解する。

【授業の概要】

様々な絵画表現や造形あそびを実習形式で行い、振り返りを行う。

また実際に園で行われているドキュメンテーションの作成について現職の保育士、専門家から話を聴く。

【全体の授業計画・内容】

1. ガイダンス 保育内容・表現の領域について

事前学習課題: シラバスを読んで授業内容を理解しておく。【0.5 時間】

事後学習課題: 使用道具に名前を記入し課題制作に備える。【0.5 時間】

2. 子どもの絵の絵画表現について 情報機器を用いての紹介

事前学習課題: 子どもの頃の造形活動を振り返る。【0.5 時間】

事後学習課題: 子どもの発達と子どもの造形活動の関わりについてまとめておく。【0.5 時間】

3. 保育における造形表現 環境について

事前学習課題: 子どもの頃の造形活動を振り返る。【0.5 時間】

事後学習課題: 造形活動に必要な環境を考察する。【0.5 時間】

4. 平面技法についての研究 教材研究 ① (にじみ絵・合わせ絵)

事前学習課題: 水彩絵の具の特徴を調べておく。【0.5 時間】

事後学習課題: 絵本や絵画作品でこの技法が使われているか調査する。【0.5 時間】

5. 平面技法についての研究 教材研究 ② (絵画表現の応用) 切り絵 カッティング

事前学習課題: 切り絵にしたい下絵の資料を集めておく。【0.5 時間】

事後学習課題: 切り抜きの作業環境を整えておく。【0.5 時間】

6. 平面技法についての研究 造形あそび① スタンピング

事前学習課題: 切り絵の下絵から表したい画面をイメージしておく。【0.5 時間】

事後学習課題: 作業工程で特に気づいた点や感想をまとめておく。【0.5 時間】

7. 平面技法についての研究 造形あそび② 和紙染め マーブルング

事前学習課題: 和紙や彩液について調査しておく。【0.5 時間】

事後学習課題: この技法を使った子どもたちとの造形活動をイメージしてみる。【0.5 時間】

8. 平面技法についての研究 造形あそび② フィンガーペインティング

事前学習課題: 指絵の具を自宅で作くり、素材を研究する。【0.5 時間】

事後学習課題: 活動の感想を書きながら振り返り、提出する。【0.5 時間】

10. 平面技法 教材研究のまとめ

<p>事前学習課題:使用した、画材や道具について振り返る。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:経験した平面技法についてそれぞれの特色をまとめておく。【0.5 時間】</p>
<p>11. 平面技法の応用 鑑賞 主体的・対話的な学びについて</p> <p>事前学習課題:切り絵にしたい下絵の資料を集めておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:切り抜きの作業環境を整えておく。【0.5 時間】</p>
<p>12. 保育指導案の作成について</p> <p>事前学習課題:保育指導案について調査しておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:実際に自分で保育指導案を作成してみる。【0.5 時間】</p>
<p>13. 模擬保育①(造形あそび)</p> <p>事前学習課題:模擬保育の必要なものを準備する。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:模擬保育について振り返り、感想を提出する。【0.5 時間】</p>
<p>14. 模擬保育②(情報機材・機器を用いて記録する)</p> <p>事前学習課題:情報機材・機器についての調査を行う。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:記録による振り返りを行う。【0.5 時間】</p>
<p>15. 保育内容「表現」ドキュメンテーション・ポートフォリオ 情報機器・機材を用いる記録について</p> <p>事前学習課題:ドキュメンテーションについて調べておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:ドキュメンテーションについてまとめておく。【0.5 時間】</p>
<p>諸事情により授業内容の変更もあり</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>授業で用いる用具、素材の事前準備をする。</p> <p>子どもの姿を想定しながら積極的に造形活動に参加し創意工夫を試みる。</p> <p>授業で経験した制作活動を振り返り、保育での活かし方を考察する。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>提出物(70%) 授業態度(30%)</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>作品やレポートに対しての寸評によるアドバイスをを行う。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>適宜配布する。</p>
<p>【参考文献】</p> <p>授業時に紹介する。</p>
<p>【実務経験の有無】</p>